

主題

(ゴシック体 20pt、センタリング、2 行まで)

副題 (ゴシック体 14pt、センタリング、1 行、副題がない場合は空行)

○武田晴信 ・ 山本勘助 ・ 武田勝頼

(**大学**学部) (**大学大学院**研究科) (**県立**学校)

キーワード : キーワードを 3～5 語

I. 問題と目的 (ゴシック体、11pt)

本文は明朝体、11pt、両端揃えとし、段落は 1 字下げとし、行間をあけずに記述してください。(I. などの大見出しの上のみ 1 行あけてください)

小見出しはゴシック体、11pt、左揃えとします。

A4 縦用紙に上下 20mm、左右 16mm の余白設定とし、25 字×45 行×2 段組、2 ページで記載してください。

その他、「場面緘黙研究」【執筆規定】に準じて執筆してください。

※体裁について、大会実行委員会事務局にて調整させていただきますので、PDF ファイルとともに、文書ファイル (Word など) もあわせてご提出ください。

II. 方法

III. 結果

図表は判読できる大きさと鮮明に作成してください。なお、図表タイトルは本文と同様 11pt のフォントになるように調整してください。

表は、原則として横罫線のみで表示し、数字は半角表示としてください。

IV. 考察

□ 原稿作成に際して注意

- 以下の研究については特に倫理的配慮や手続きが必要です。
 - 相手方の同意・協力を必要とする研究
 - 個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究
 - 生命倫理・安全対策に対する取り組みを必要とする研究
 - 法令等に基づく手続き等を必要とする研究
- 発表論文集原稿の任意の箇所に、倫理的配慮や手続きを行なった旨を必ず記載してください。
- 事例の発表の場合は、論文集原稿がインターネット上で公表されることを含め、必ず本人・保護者・事例所属機関等から発表の同意を、原則として書面によって得たうえで、そのことを明示してください。また、個人情報保護の観点から、個人の同定につながる実名やイニシャル、学校名や自治体名等の固有名詞の記載はしないでください
- 所属機関等の倫理委員会で承認を得た場合は、番号を記載して示してください。
- 研究に関連した利益相反の状態について、発表論文集原稿の任意の箇所に明示してください。
(例「本研究に関して開示すべき利益相反関連事項はない。」など)

[引用文献]

本文において引用されたすべての文献を、著者名のアルファベット順に記載する。

それぞれの文献について、2行目以降を1字下げとし、その他の表記方法は機関誌「場面緘黙研究」の「執筆規定」第6項を参照すること。

[付記]

謝辞や当該研究に関して受けた研究助成などについて、その旨記載する。

最終行に、発表者全員のローマ字氏名を記載する。
(TAKEDA Harunobu, YAMAMOTO Kansuke,
TAKEDA Katsuyori)